

令和7年度 府立丹後緑風高等学校網野学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） 計画段階（案）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 スクール・ミッション「企画経営科・普通科を設置する学舎制高校として、確かな学力や起業家精神、豊かな表現力、コミュニケーション能力を育み、新しい価値を創造し社会に貢献できる人材を育成する。」を教育活動の中に明確に位置付け、その具現化を図る。 2 生徒信条の精神にのっとり、夢や将来の目標に向けて主体的に努力する姿勢や、豊かな表現力、社会に貢献する姿勢、他者と協働して課題に取り組む力を育成する。 3 地域の中学生から選ばれる魅力ある学校づくりを推進する。	（成果） 1 学舎制の特徴を活かした教育活動を推進できた。 2 ペーパーレス化や会議の実施方法の工夫により、働き方改革を一定進めることができた。 3 国公立大学、4年制大学への進学、就職内定率100%など、生徒の希望進路実現をサポートできた。 4 高い部活動加入率を基盤に、遅刻数も少なく、年間を通じて落ち着いた学習環境を維持した。 5 外部機関や人材、コーディネーターと連携し、「課題研究」や「総合的な探究の時間」を充実させた。 6 各媒体による発信や、さくら連絡網の活用による情報提供により校内の取組や生徒の様子を発信できた。 7 教育相談・いじめ対策・特別支援教育会議により、課題等のある生徒への対応を迅速かつ組織的に進めた。 （課題） 1 生徒が主体的に学習に取り組む姿勢をさらに育むために授業改善等の方策を進める必要がある。 2 1、2年生において進路希望をできるだけ具体的にできるような取組等が必要である。 3 生徒会執行部の生徒を中心に、生徒が主体的に校則や行事について考える機会を持つ必要がある。 4 情報共有や会議の方法の改善を進めるとともに、業務の見直しを行って働き方改革を進める。 5 中学生やその保護者に向けて、本学舎に対する理解をさらに深める広報・取組を進めていく必要がある。	1 グラデュエーション・ポリシーの具現化に向けた取組の計画的な推進 (1) 探究的な学習活動（表現を含む）の充実 (2) 学びに向かう姿勢と確かな学力の醸成 (3) 社会に開かれた教育課程の実践
		2 学舎制を活かした教育活動の充実 (1) 合同部活動・遠隔授業の充実 (2) 農商連携の推進 (3) 合同行事・取組による学舎間交流の促進
		3 進路指導の充実 (1) 主体的に進路選択できる力の育成 (2) 希望進路実現に向けた実践力の養成 (3) 生徒・保護者等・学校が一体となった進路指導体制の確立
		4 広報活動の充実と保護者連携の推進 (1) 本学舎の特色・魅力の発信 (2) 保護者との情報共有

評価はA～Cの3段階で表記しています。 A：十分達成できている。 B：概ね達成できている。 C：あまり達成できていない。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	学舎制の特徴を活かした教育活動の推進	・日常的な学舎間連携を強化し、遠隔授業、合同部活動の円滑な実施を図る。 ・学舎間連携行事の充実を図る。 【学舎間連携の取組：10回以上】 【各行事アンケートの合同実施に関する問への回答：肯定的回答80%以上】		
	教職員や学校組織の資質能力の向上による学校の教育推進力の向上	・センター研修の受講及び校内研修を計画的に推進する。 【センター研修の受講：延べ30回以上】		
	教職員の働きやすさと働き甲斐の向上	・業務のペーパーレス化、スクラップの推進を図る。 ・教職員の連携を進め、業務の効率化や協働体制の強化を図る。 【19時30分までの退勤率：80%以上】 【業務の連携・協働体制についてのアンケート：肯定的回答70%以上】		
学習指導	主体的に学ぶ生徒の育成①～学習習慣の定着	・生徒の自主的な学習習慣を確立するための取組を推進する。 【学習時間調査での目標時間の達成率：90%】		
	主体的に学ぶ生徒の育成②～確かな学力の育成	・学習意欲の醸成、学習習慣の定着に繋がる取組を推進する。 ・互見授業の充実により、授業改善、教科指導力向上を図る。 【学習に関するアンケートでの上記項目に関する肯定的回答：90%】 【授業参観 1人2時間以上】		
	表現活動・探究活動の充実	・探究的活動や表現活動を取り入れた授業実践を充実させる。 【全教員の取組：年間1回以上の実践】		

生徒指導	自らの生活や態度を調整できる力の育成	・挨拶、身だしなみ、礼儀・マナー、時間厳守等の指導を全教職員で行い、社会人として必要な態度を育成する。 ・交通安全や情報モラルの指導等により、自分の身は自分で守る力を育成する。 【全校生徒年間校門遅刻数 のべ10人以下】 【年間事故件数 0件】			
	自らの心と体の状態を調整できる力の育成	・部活動加入を推奨し、体力の向上や感性を磨く活動の充実を図る。 ・生徒会活動の充実を図り、生徒の創意工夫する力を育成する。 【全校部活動加入率：80%以上】 【生徒会行事のアンケートでの満足度に関する回答：肯定的回答 90%】			
	他者との人間関係を調整できる力の育成	・いじめや学校不適應の早期発見・早期対応のための情報交流を密接に行う。 ・ボランティア活動への積極的な参加を推進し、キャリア教育や地域貢献の充実を目指す。 【年間ボランティア活動参加者数：のべ 1000人以上】			
進路指導	主体的な進路選択を支援する進路指導	・大学見学ツアー、オープンキャンパス等の校外進路行事等を活用した進路学習を充実させる。 ・進路希望未定生徒への面談を実施する。 ・生徒の学力や進路希望について教員間の連携を密にし、個別最適なサポートを行う。 【進路希望未定生徒：1年生 10%以下、2年生 0%】			
	希望進路実現に向けた実践力を育成する進路指導	・模擬面接、公務員講座、個別指導（国公立推薦・総合型選抜）、進学講習を計画的・継続的に実施する。 【就職内定率：100%】 【進路分野別希望実現率：95%以上】			

	生徒の希望進路実現を保護者とともに推進する進路指導	・保護者を対象とした進路関連行事・取組（説明会、見学会、オンライン配信、資料配付等）の充実を図る。 【行事・取組の開催数：年間5回以上】			
保健・安全教育	健やかな心身の育成	・外部機関と連携し講演会を実施する。（性教育、薬物防止等） ・保健、美化委員会の活動を充実させ、感染症予防を含めた教室環境の整備、健康啓発活動の取組を推進する。 ・スクールカウンセラーを活用した教育相談に積極的に取り組む。 【講演会の実施：各学年1回】 【教育相談・いじめ対策・特別支援教育会議：定期（6回）を含めた効果的な開催】			
	安全意識の向上と危機対応能力の育成	・防災委員の活動や防災訓練を通して、防災意識の高揚を図る。 ・授業や部活動等の様々な場面で生徒の怪我予防の啓発を推進する。 【怪我予防啓発の取組：3回以上】			
人権教育	生徒の人権意識の高揚と今日的人権問題の解決に向けた具体的な行動の促進	・より良い社会を築こうとする意欲の向上と今日的人権問題の正しい理解に向けた取組を推進する。 【人権ホームルームの実施：各学年2回以上】			
広報活動 地域連携	広報活動の充実と生徒募集の強化	・広報紙とホームページ、Instagramにより本校の教育活動の特色・魅力を広く発信する。 ・小中高連携の取組を推進し、本校への志望意識を醸成する。 【中学生対象アンケートの広報に関する項目肯定的な回答 80%以上】			
	地方創生教育の推進	・地域人材、地域コーディネーターを活用した探究等の取組を推進する。 【地域人材を活用した授業：年間20件以上】			

学校運営協議 会による評価	
------------------	--

次年度に 向けた改善の 方向性	
-----------------------	--